

新設校で使用する食器及び中学校の給食方式について

1 食器について

3月開催の第3回学校教育委員会において、現在、市内の小学校で使用している「PEN樹脂製食器」に関する資料を提示し、各学校のPTAに、PEN樹脂製食器及び強化磁器食器を参考にして、比較検討していただきました。

その結果、4校とも「PEN樹脂製食器の方が望ましい」との意見であったため、新設校では、**PEN樹脂製食器（飯椀、汁椀、深皿の3種類）**による給食を提供することとします。

なお、中学校で使用する食器の大きさ等については、今後検討します。



【PEN樹脂製食器】

2 中学校給食の調理方式について

新設校では、全児童生徒の食数に対応できる給食室を整備していますので、**「自校方式」**を採用します。

3 中学校給食の献立について

小中連携校である照葉小中学校同様、**小学校の献立による給食の提供**を行います。

提供する量は、市の定めた基準に基づいて算定されます。

① 子ども達にとっての使いやすさ

- ・ PEN樹脂製食器は重さが40人で12kgと比較的軽量である。一方で強化磁器食器は重さが27kgとPEN樹脂製食器のおよそ2.25倍もあり、子ども達の運搬や配膳の作業に労力を伴う。
- ・ PEN樹脂製食器は平成21年度から市内140の小学校で使用しているが、破損がほとんど生じず、取扱が容易である。(年間で全校を通じ10個程度の破損) 強化磁器食器については、食器の材料にアルミナ(酸化アルミニウム)を配合することにより、軽量化を図りながら強度を高めているものの、年間で10%程度の食器が破損している。また、破損した破片が鋭利となるなど、子ども達による取扱には注意を要する。

- PEN樹脂製食器は重さが強化磁器食器の半分以下で、比較的軽量である。
- PEN樹脂製食器は割れや掛けがほとんど生じず、取扱が安全である。

② 子ども達にとっての安全・安心

- ・ 平成13年にPEN樹脂製食器発売。
- ・ 政令指定都市のうち、計8市で最長10年程度の使用実績をもつ。

樹脂製食器については、各樹脂素材によりそれぞれ特性があるが、PEN樹脂製食器を選定するにあたっては、子どもたちにとっての安全・安心を重視した。PEN樹脂食器の特長は下記のとおりとなっている。

特長1. 食器の原料に環境ホルモンや発がん性のある有害物質を使用していない。

特長2. 食器の強化等に使用される添加剤を一切使用していない。

特長3. 食器の表面に塗装を施していないため、塗料の溶出や剥がれがない。

特長4. 厚生労働省登録検査機関などによる客観的な評価において全く問題がない。

③ 本市小学校への導入後の状況

- ・ 熱いものでも持って食べることができる。
- ・ 見た目には強化磁器食器には劣るが、家庭の食器に近く、子どもたちにも好評である。
- ・ 見た目に美味しく感じ、食欲が進み、残滓率の低下に貢献している。

※ PEN樹脂製食器の、安全性が必要とされる容器への使用用途
食品分野では、加熱殺菌できることから、ジャムやゼリーなどの容器に使用されている。
医療分野では全身麻酔薬の容器として使用されている。
海外においては、デンマークやノルウェー、ドイツやブラジルなどでビールや炭酸水用に加熱洗浄して繰り返し使えるリターナブル容器として使用されている。